

佐伯ゼミ 研究会A

担当教員:佐伯英子 先生

概要と目的

身体について、社会的観点から考えていくゼミです。医療・ジェンダー・生命倫理・レイシズムなどを学び、ディスカッションを中心に意見交換をしながら、理解を深めています。また、文献や読んだりドキュメンタリー映画を見たりなど、いろいろな形で新しい知識を吸収していきます。発表や意見をまとめる機会も多いため、アウトプットスキルを身に付けることにも役立ちます。様々な社会問題に向き合い、ゼミ生みんなで楽しく学んでいます！

活動内容

1. 話題提供

授業の最初に担当者(一回の授業につき2名程度)が新聞記事やネットニュースなどから話題を提供します。取り上げられた社会問題についてグループディスカッションをし、どのような意見が出たか共有します。

2. 文献を読む

決められた本を全員で読み進めていきます。2019年度は英語の文献を、2021年度秋学期は『レイシズムとは何か』梁 英聖(2020)を精読しています。章ごとに担当グループがレジюмеを作り、ディスカッションクエスチョンを設定します。それについてグループディスカッションをし、どのような意見が出たか共有します。

3. 卒業論文の作成

佐伯ゼミでは4年秋学期に卒業論文を作成、提出するために2年生から計画的に個人研究に取り組みます。作成にあたって用いる調査方法(質的調査、KJ法など)については、佐伯先生の研究会B(金曜2限)で学ぶことができます。

また、オフィスアワーを利用して、個人研究についての相談が気軽に行えます。学期の要所に進み具合の報告があるため、メリハリをつけて進めることができます。

ゼミ生の研究テーマ

＜医療・生命倫理＞

「HPVワクチンに関する望ましいインフォームドコンセントとは何か」、「出生前診断と優生思想のつながり」、「発達障害者と特別支援学校のありかたについて」

＜ジェンダー・セクシュアリティ＞

「少女漫画雑誌は読者の恋愛観にどんな影響を与えるか」、「LGBTを描くドラマについて」、「スポーツとジェンダー平等について」、「雇用や労働における男女格差」、「結婚願望について」「生理に関して女性の過ごしやすい社会とは」「横浜市における若者に向けた多様な性に関する教育について」

＜その他＞

「マスク着用によるコミュニケーションへの影響」、「ロリータファッションからみるアイデンティティ形成について」、「JKビジネスの実態を支援団体の役割と影響の観点から考える」、「ネット炎上事例の匿名言論が人々の価値観に与える影響について」、「ヴィジュアル系ロックバンドは、ファンの精神状態や社会の問題意識に、どのような影響を与えるのか」、「高齢者の社会的孤立について」、「スクールカーストがどのような影響を与えるか」、「養子縁組制度と里親制度について」など、幅広い様々な研究テーマを設定しています。

ゼミの雰囲気

- ・落ち着いていて穏やかで、優しい人ばかりです。
- ・話しやすい雰囲気で、ディスカッションでも発言しやすいです。

どんな人におすすめか

- ・幅広い社会問題に興味がある人。
- ・ディスカッションを通じて意見を共有し、自分の考えを深めたい人。
- ・興味を持った社会問題について掘り下げて調べたい人。

人数

総数:24人

うち 4年生:8人、3年生:7人、2年生:9人

課外活動

1.英語ワークショップ(2021年度～)

木曜日のお昼休み(12:40~13:10)にBT605などで英語のワークショップを開催しています。このワークショップは英語のスキルを高めたい、TOEICや英検などの試験のスコアを伸ばしたいゼミ生が一体となり、お互いの良い刺激となるように、と佐伯先生が考案してくださったものです。ワークショップへの参加は自由で、現在8名が参加しています。具体的には、英語で日記を書く、その週に聴いた英語の曲や動画、映画、読んだ記事の共有といった活動をしています。

2.課外活動(2019年度～)

現在はコロナ禍ということもあり活動できていませんが、代々木上原にあるモスクを見学しに行く、ゼミ合宿をしたいなどの案があります。実施する際はいずれも自由参加となる予定です。発足して間もないゼミなので、やりたいことがあれば実現しやすいところが魅力です。

佐伯ゼミ サイトリンク 法政大学のGoogleアカウントからのみアクセスできます。

<https://sites.google.com/stu.hosei.ac.jp/jinkan-saekiseminar>

